

平成 28 年度 第 248 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 28 年 5 月 31 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 05
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、吉永事務局長、
大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、
龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、
王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、
佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、後藤評価室副室長

- 配布資料**
- 1 欠員補充申請書 (国際環境工学部)
 - 2 名誉教授の称号授与について
 - 3 日本語パートナーズ派遣事業大学推薦プログラムについて
 - 4 出席確認システムの試行期間の変更について
 - 5 平成27年度 休学及び退学除籍者数の推移について
 - 6 平成27年度 卒業者の就職状況について
 - 7 平成28年度 研究基盤充実費の採択について
 - 8 学習支援フォルダー権限誤設定等によるインシデントと今後の対応について
 - 9 教員が週休日等に業務に従事した場合の事務手続きについて (通知)

第 1 号 教員の人事について

* 資料1のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、平成27年9月30日付けで退職した董青講師の後任として、電子情報通信工学分野担当教員1名の欠員補充申請について提案。

- 董青講師の欠員補充は、昨年度の採用人事で適任者がいなかったため、改めて欠員補充を再申請するもの。
- 情報メディア工学科では、北九州市新成長戦略に貢献するため、市内でもニーズの大きいロボットおよび人工知能の分野を強化してきた。今後、地元企業と連携した研究開発を推進し、ロボット・医療・災害支援などのプロジェクトを進展させるため、後任者の担当分野を情報工学、集積回路設計分野から電子情報通信工学分野へと変更し、当該分野の軸となる電子情報通信技術に習熟し、ものづくりに積極的に貢献できる教員を補充したい。なお、前任者が担当していた情報工学、集積回路設計分野は現有教員で対応する。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 名誉教授の称号授与について

* 資料2のとおり、名誉教授の称号授与について提案。

- 平成28年3月に退職した教員を対象に、選考基準を満たした8名に名誉教授の称号を授与する。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

報告

- ① 日本語パートナーズ派遣事業大学推薦プログラムについて、資料3のとおり報告があった。
- ② 出席確認システムの試行期間の変更について、資料4のとおり報告があった。
 - 〔・平成29年4月の運用開始に向けて、運用面や活用方法等、今後の推進体制を明確にして検討を進めるよう、学長より指示があった。〕
- ③ 平成27年度の休退学者数について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 平成27年度卒業者の就職状況について、資料6のとおり報告があった。
- ⑤ 平成28年度 研究基盤充実費選考結果について、資料7のとおり報告があった。
- ⑥ 学習支援フォルダー権限誤設定等によるインシデントと今後の対応について、資料8のとおり報告があった。
 - 〔・今後早急に危機管理委員会等で対策を詰め、適時状況報告するとともに、大学として組織的に対応する旨、学長より指示があった。〕
- ⑦ 教員が週休日等に業務に従事した場合の事務手続きについて、資料9のとおり報告があった。
- ⑧ 次回の審議会を平成28年6月14日（火）に開催する予定である旨、報告があった。